

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

沖縄県

行事名称	第71回文化財防火デー 消火訓練
実施期間・日時	令和7年1月30日(木) 午後2時20分～3時20分
実施場所	国指定重要文化財 権現堂
主催者	石垣市教育委員会・石垣市消防本部

■実施内容

訓練の想定

権現堂拝殿裏手に捨てられたタバコの残り火が風にあおられて枯葉に着火し、拝殿裏の土間に入り込んでポヤが発生。火の廻りが早く延焼している。

訓練の内容

火災を発見した清掃員が消火栓の火災報知ボタンを押し、消火器で初期消火にあたる。火災報知器の発報により、桃林寺住職も火災発生に気付く。住職は火災通報装置で消防署へ通報。通報後、消火栓ポンプを起動させ、放水銃を操作して消火にあたる。通報を受けた消防署は、現場へ急行し、消火活動を行う。

参加者及び役割分担

石垣市シルバー人材センター清掃員 1名：火災発見、火災報知ボタン作動、消火器による初期消火
 桃林寺住職 1名：火災通報装置で消防へ通報・逆信応答、ポンプ作動、放水銃操作
 石垣市消防本部出動隊 3名：ポンプ車出動による放水
 石垣市消防本部職員 3名：訓練統括、訓練講評、消火器の扱い方講習
 石垣市教育委員会職員 9名：全体統括、交通整理、周知・広報、記録

特に工夫した点

消火訓練終了後、桃林寺住職、石垣市シルバー人材センター清掃員、石垣市教育委員会文化財課職員を対象に、石垣市消防本部職員が消火器の扱い方講習を実施した。

問題点・課題

今回の消火訓練では、想定の内容により、1人でも操作できる放水銃を使用した。権現堂の敷地内には、最低2人で操作する屋外消火栓も設置されているので、訓練に取り入れることを検討したい。

その他

消火訓練の様子は、八重山毎日新聞・八重山日報の新聞紙、石垣ケーブルテレビ(民放)により、報道された。

訓練風景



清掃員が消火器で消火訓練



消防隊及び清掃員による放水訓練